

平成30年度事業報告

平成30年度は、公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会が設立20周年を迎え、10月18日に県立音楽堂ホールにおいて、盛大に記念式典が開催されました。県内18センターから多くの役職員並びに会員が集結し、シルバーの20年間の歩みを振り返りました。

さて、近年は景気の拡大を基調として、企業の人手不足が強まっており、シルバー派遣事業にとっては、受注拡大に向けた大きなチャンスでもありました。しかし、企業側の望む人材と会員の希望とのマッチングがうまくいかず、お断りするケースも多くなりました。シルバーとしては、企業側が望む100%の就業内容ではなく、その中で会員ができる内容の部分を短時間でさせて頂くことによって、人手不足の部分を少しでも軽減できるような提案型の受注確保をするようにしました。そうした中、金沢市シルバー人材センターと**業務連携の協定書**を締結し、お互いに会員がいない場合や隣接する地域での就業を可能とすることを文書化し、より機能的なシルバーとして活動できるようにしました。また、ハローワーク金沢のご協力の元、毎月2回シルバーの説明会をさせて頂けるようになりました。これからも地域社会の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる『今から』の生きがいがづくりの実現が必要であり、シルバー人材センターでは、地域の「お助け隊」として、日常生活に密着した就業を提供し、企業の人手不足分野に少しでもお役に立てることができるよう、今後も努めて参りたいと思います。

今年度も会員への技能付与や知識の向上を図るため、育成事業を活用した講習会や独自講習会を積極的に行ない、1人でも多くの会員が生きがいを持って元気に就労できるように、以下の事業を行いました。

1 組織運営体制強化

(1) 会員増強

お客様の多種多様な就業要請に応えるため、町内に住む健康で働く意欲があり、幅広い能力を持つ団塊世代の人たちへ入会を勧め、常時200名の確保の為、下記の活動を行なった。

- ・町広報を活用した募集及び独自ホームページによるPR。
- ・各町会へポスター掲示やチラシの設置、回覧を依頼した。
- ・各種団体や高齢者が集う場所への出向入会説明会を行なった。
- ・一会員一就業先開拓運動の推進を行なった。
- ・17地区へ出向し、定年退職者・予定者への夜間説明会を行なった。
- ・金沢市SCと連携し、ハローワーク金沢内で月2回シルバー説明会が行なえるようになった。

- ・役場関係、外部団体並びに企業でのポスター掲示や新聞広告チラシ（2回）による会員募集PRをした。

(2) 事務局体制強化

新規事業展開や、営業活動強化策を見据えた効率的な事務局を目指した。

- ・職員一人一人が考えて提案するよう促した。
- ・積極的な研修会参加による職員の業務能力向上を行なった。

(3) 会員による自主運営確立推進

見積もり・現場管理・業務完了確認など、事務局主導を見直し、可能な限り「会員が運営するシルバー人材センター」という認識を浸透させることで自主性を喚起し、より働き甲斐と喜びの機会を提供した。

- ・普及啓発委員によるポスター図案作成やシルバー機関誌『わくわく情報局』の制作に取り組んだ。
- ・事業委員会による企画運営
 - ・親睦会（茶話会）の開催、「新鮮野菜市」への参加協力
- ・会員世話人によるグランドゴルフ大会（年2回）の開催

2 就業機会の開拓

事業の根幹であり、自主財源確保対策の最重要課題として、派遣事業を含めた受注活動の拡大に努めた。

- (1) 町内及び隣接する地域の企業・事業者・一般家庭に人材派遣業務及び会員が対応可能な業務を知らせ、就業機会の開拓に努めた。
 - ・企業・事業者に対するPRと提案型営業活動を推進した。
 - ・季節ごとに(剪定・雪吊り・除草・除雪等)予約募集活動を行なった。
 - ・事業所・各種団体窓口へのポスター掲示を依頼した。
- (2) 「新鮮野菜市」の問題点や今後の事業継続の推進を行なった。
- (3) 子育て分野(ファミリーサポートセンター)の連携を強化した。
- (4) 育成事業を活用した講習会開催を行なった。
 - ・「接遇マナー講習会」、「刈払機安全技能講習会」、「公園施設管理（造園）講習会」、「介護福祉調理補助講習会」
- (5) 独自講習会も開催した。
 - ・「料理教室（計7回）」、「ハウスクリーニング講習会」
- (6) 「ワンコインサービス」の周知を行なった。
- (7) 内灘町及び内灘町社会福祉協議会、内灘町商工会との連携を行なった。

- (8) 内灘町と連携した「空き家管理業務」の周知強化
- (9) 北鉄バス車内放送によるシルバーPR強化を行なった。(11月末まで)

3 会員の安全・適正就業に関する意識・知識の向上

事故ゼロを目指した安全就業に関する意識の再徹底と、知識・技能向上を図る機会を作り、会員個々の就業機会の開発と、技能継承に努めた。

- ・リーダーによる朝礼・終礼の徹底（現場指示、注意事項の伝達等）を行なった。
- ・会員への賠償事故防止対策指示の徹底と現場管理
- ・安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロール（毎月1回）を行なった。
- ・安全・適正就業委員会による事故原因の追究と再発防止を行なった。
- ・県シ連と連携した「運転技能講習会」を開催した。
- ・知識向上の為に救命救急講習会も行なった。
- ・「いきいき通信」を活用した安全就業の啓発・情報発信を行なった。
- ・企業、役職員、会員への「適正就業ガイドライン」の遵守の啓発を行なった。

4 普及啓発

センターのPRを兼ね、地域住民及び各種団体との連携強化と会員の一体感醸成のため、ボランティア活動を始め、新鮮野菜市の開催等を行なった。

- ・海岸清掃ボランティアを実施した。
- ・普及啓発月間中、町内スーパーマーケット店頭でのチラシ配布によるPRを行なった。
- ・チラシで作るゴミ入れの作成・配布（配布先：内灘町役場、子育て支援センター、町内保育園、介護施設、各公民館等）ボランティア
- ・新聞折り込みチラシ（年2回）やポスター掲示によるシルバー人材センターPR
- ・シルバーの活動内容をお知らせする機関誌『シルバーわくわく情報局』の発行
- ・内灘町広報等によるセンター事業のPRを毎月行なった。

5 その他

- ・内灘町シルバー人材センターの特色を生かした事業の模索を行なった。
- ・「顧客満足度アンケート調査」を行なった。
- ・派遣事業の拡大に取り組んだ。
- ・石川県シルバー人材センター連合会「20周年記念式典」へ参加した。
- ・「第1次中期計画」の見直しを行なった。